

現場の一線で活躍している「弘前技専」の先輩からのアドバイス！

青森県立弘前高等技術専門校の建築システム工学科(現在は「総合建築科」に改称)で建築のノウハウを学び、社会へと羽ばたいていった先輩たちが、学生時代に何を学び、どんなことを考えながら「いま」と「将来」を見据えていたのか。現在の仕事と学校生活のことなどについて聞いてみました！

現場の即戦力となる力を育てる

学生と共に将来を考える

建設業の担い手となる人材

2年間の実践的な教育

×

就職支援

=

即戦力人材の育成

現場のリアルな課題で訓練を実践

専門スタッフが一人一人をサポート

学校で学んだことを現場で活用

株式会社大林デザインパートナーズ(弘前市)



長谷川 瑠南

弘前学院聖愛高等学校(普通科)卒業

現在、(株)大林デザインパートナーズで、BIMやCADを使って、設計業務に携わっています。学校では、建築の知識・技能とものづくりの楽しさを学ぶことができました。実習では、城北公園交通広場に設置してある旧弘前駅舎の模型をクラスメイトと協力しながら修復し

て引渡しをしたとき、多くの方から感謝の言葉をいただいたことがとても印象に残っています。また、弘前市内には多くの有名な建築物があるので、学生のうちに多くの建築物を見て構造やデザインに関心を持つことで、デザイン力や設計力のアップにつながることを期待できるので時間をうまく使っているいろいろなことにチャレンジしてほしいと思います。行動に移すことはたいへんな時もありますが、最初から無理と決めつけず、建築を学ぶために全力で取り組んでみてください。

MAKE BEYOND
OBAYASHI つくるを拓く

有限会社ヤマトホーム(弘前市)



山本 大翔

弘前東高等学校(普通科)卒業

現在、私は(有)ヤマトホームで大工として働いています。入社当初は設計や現場管理を担当することになっていましたが施工現場で家づくりに携わりながら現場の知識やいろいろな業者の方と面識を持ってから、設計や現場管理をした方が円滑に仕事をすることができ

るということで、3年は現場で勉強をすることとしていました。青森県立弘前高等技術専門校の在学中に2級建築大工技能士をはじめ、2級建築施工管理技士補など建築に関するたくさんの資格を取得することができたので、仕事をする上ではプラスになっています。仕事をしていると失敗をして落ち込むこともあります。その時は学校で学んだ基礎を思い出し、先輩に指導していただきながら解決するようにしています。建築業は住む人や使う人の夢や希望をカタチにする職業です。まだまだ勉強することが数多くありますが、将来はお客様や取引先の方々から信頼をして仕事を依頼される現場管理者になりたいと思います。

八木橋工務所(弘前市)



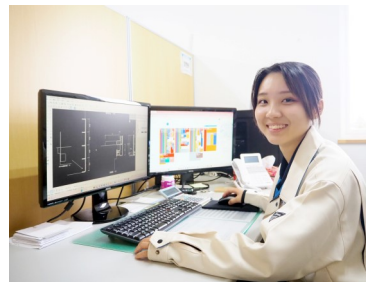
工藤 颯人

弘前東高等学校(普通科)卒業

現在、八木橋工務所で大工として一般住宅を建てる仕事に携わっています。青森県立弘前高等技術専門校で2年間、木造建築のことについてしっかり勉強したつもりでしたが、現場では学生の時よりも学ぶことが数多くあり、入社当時は自分に自信を持って仕事をすることができず、失敗することが多くありました。そのため学校で学んだことを思い出しながら仕事を重ねていくうちに、今までの戸惑いや失敗などが減っていきました。また、現場では初めて経験することやいろいろな専門用語があるので、分からないことがあったらそのままにせず、自ら教科書や用語辞典を使って調べることや、先輩に聞いて問題を解決することが大切です。物事について分かっているということは、自分に自信を持つことができるので、みなさんも「自分に自信を持てる」ように、基礎をしっかり身に付けてがんばってください。

ことができず、失敗することが多くありました。そのため学校で学んだことを思い出しながら仕事を重ねていくうちに、今までの戸惑いや失敗などが減っていきました。また、現場では初めて経験することやいろいろな専門用語があるので、分からないことがあったらそのままにせず、自ら教科書や用語辞典を使って調べることや、先輩に聞いて問題を解決することが大切です。物事について分かっているということは、自分に自信を持つことができるので、みなさんも「自分に自信を持てる」ように、基礎をしっかり身に付けてがんばってください。

株式会社亜細亜建設(青森市)



伊藤 美蘭

青森県立青森工業高等学校(建築科)卒業

私は(株)亜細亜建設で現場監督と設計に携わっています。お客様と一緒に「どのように暮らしの改善をするのか」「これからの住まいのプランをどうするか」などの相談をして見積を作成します。その上で工事が決まると現場に必要な材料等を発注し、現場全体の管理を行

いながら、お客様に引き渡し後のアフターフォローも行っています。学校生活では、「挨拶」「コミュニケーション」「継続するための粘り強さ」は是非身に付けて欲しいです。仕事する上で沢山の業者の方と関わる機会があり、分からないことは分からないと言うだけでなく、それをどのように学ぶかが自分自身の成長にもつながると感じています。また、仕事では分からないことだらけで躓くこともあります。諦めないで楽しく仕事を継続するための粘り強さが必要だと思います。

株式会社 亜細亜建設

ASIA HOMES